

〈東文研・ASNET共催セミナー〉

中国フード・レジーム

1950～70年代「南糧北調」の再考

China's Food Regime: To Reconsider the South-to-North Grain Diversion

本報告は報告者が行う中国フード・レジーム論の構築に関連する研究の成果の一つである。1950-70年代 中国の国内食糧需給構造は「南糧北調」(南方で生産した穀物等を北方へ調達する構造)であるという主張は長い間、学者と食糧産業の関係者によって唱えられてきた。それに対し、本報告は、一人あたり食糧生産量と食糧調達量に関する省レベルのデータを検討し、「南」対「北」の分析枠組は不精確であり、「南糧北調」の通説が成立しないことを明らかにする。



◆ 日 時 : 2015年2月5日(木) 17:00-18:00

◆ 報告者 : 張 馨元氏 (東京大学 東洋文化研究所 助教)

◆ コメント : 卯田宗平氏 (東京大学 ASNET機構 特任講師)

◆ 会 場 : 東京大学 本郷キャンパス内 東洋文化研究所 1F ロビー

※ 報告は日本語で行われます(英語、中国語のご質問も歓迎します。)

東文研・ASNET共催セミナー

東洋文化研究所とASNETは毎週木曜日の夕方にセミナーを開催しています。どなたでもご参加頂けます。皆様のお越しをお待ちしております。詳しくはこちら: <http://www.asnet.u-tokyo.ac.jp/>

東大ASNET

検索



東京大学

日本・アジアに関する教育研究ネットワーク
Network for Education and Research on Asia

